

## 福祉系大学経営者協議会 令和 6 年度第 1 回総会 開催報告

令和 6 年 6 月 24 日(月)、福祉系大学経営者協議会 令和 6 年度第 1 回総会をハイブリッド（Zoom 及び日本福祉大学東京サテライト）で開催し、24 校 35 名にご出席いただきました。

冒頭、丸山会長より、今年度は福経協設立 15 年目の年となり、設立時には 11 大学であった会員校が現在では 27 大学に増えたことが述べられました。また、設立 20 年目の際には周年記念となるイベントを考えたいとの提案がなされました。バブル経済の時代には就職氷河期や消えた年金問題、リーマンショックの影響に加え、福祉バッシングによる学生募集上困難な出来事が重なったが、様々な社会情勢が学生募集に影響を及ぼしていることは今日も同様であるとした上で、18 歳人口が著しく減少している点では極めて困難な局面を迎えているといえたと述べられました。さらに、2018 年度の中央教育審議会の答申において、医療・福祉・教育支援の分野では ICT を活用することによって成長分野になるとの報告に触れられ、福祉は成長分野であるが、安定した雇用を創出できているとは言えない状況であると指摘されました。最後に、これまでの歴史を振り返り、今後の学生募集や就職支援、新たな資格制度の対応など、総合的な観点から福経協として取り組むべき事項を考えていきたいと述べられ、第 1 回福経協総会が開会しました。

### ■第 1 部 総会■

令和 5 年度事業報告・決算、令和 6 年度事業計画・予算等について審議しました。令和 5 年度事業報告、令和 6 年度事業計画は、当サイトよりご覧ください。

### ■第 2 部 話題提供および会員校の情報交換■

#### 1. 話題提供

「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格について」

こども家庭庁支援局虐待防止対策課 課長補佐 家子 直幸 氏／同課 半田 玲子 氏

話題提供として、今年度より創設される「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格」の制度概要等が報告されました。出席者から質問が出され、活発な意見交換がなされました

#### 2. 会員校の情報交換

出席校の近況（社会福祉の魅力発信や高大連携の取り組み、「福経協」の組織としてできること等）について情報交換を行いました。

最後に、長谷川匡俊副会長(学校法人大乗淑徳学園 理事長)より、閉会の挨拶が述べられました。冒頭、こども家庭ソーシャルワーカー認定資格において、来年には開講できるよう淑徳大学としても準備していくという方針が示されました。また、これまでの福経協において福祉の概念をめぐる協議が多々なされてきたことに関連して、日本福祉大学の学園創立 70 周年記念シンポジウムで登壇された経団連名誉会長 榊原定征氏が「企業の社会貢献は盛んに言われてきたが、社会課題に対してどのように関わっていくかがこれからの社会では求められてくる」と述べたことに触れられ、我々の業界においてもこのようなスタンスが求められてくるのではないかと指摘されました。加えて、日本社会事業大学の名取学長が本日の総会で発言された「誰も取り残されない SDGs 本来の考え方」という言葉を振り返り、本協会においても改めて大切にしていきたい考え方であると述べられました。最後に、会員校に対する謝辞とまとめの挨拶がなされ、令和 6 年度福経協第 1 回総会は閉会しました。